

放送倫理・番組向上機構 御中

## 平成 27 年 10 月 16 日付申立書への補足追加主張

大阪維新の会 事務局長 喜多義典

放送局 ABC朝日放送  
番組名 おはようコール  
放送日時 月曜から金曜 AM5時から6時45分

放送局 ABC朝日放送  
番組名 正義のミカタ  
放送日 土曜日 AM9時30分から11時

放送局 関西テレビ  
番組名 ゆうがたLIVE ワンダー  
放送日 月曜から金曜日 PM3時50分から7時

<偏向的・偏狭的な政治的主張を有する者をレギュラーコメンテーターに起用する危険性>

出演者がどれだけ偏向的・偏狭的な政治的主張を番組内で行っても、出演者自身の政治的言論は全くの自由である。あとは番組が番組全体の政治的な公平性を考慮して、対抗する偏向的・偏狭的政治主張を有する出演者を起用すればいいだけである。偏向的・偏狭的政治主張も、国民に知って頂くことは重要であり、番組の役割である。

ところがレギュラーコメンテーターとなると危険性が高まる。細心の注意が必要となる。

レギュラーコメンテーターとして、偏向的・偏狭的政治主張を有する出演者が常に複数出演しているなら番組全体の公平性が保たれるであろう。

しかし、偏向的・偏狭的政治主張の持ち主一人がレギュラーコメンテーターとなった場合、番組としては、当該コメンテーターに発言させないような配慮せざるを得ない。そうなると出演者全体で議論することを避けるようになるし、場合によってはその話題をそもそも扱わないようになる。当該偏向的・偏狭的政治主張を有するたった一人のコメンテーターのために国民にとって重要な情

報が提供されない可能性が高まる。

これは本末転倒である。

番組はコメンテーターに配慮して作られるものではない。国民にとって重要な情報を提供するためにコメンテーターが存在するのである。

ましてや、特定の候補者や特定の政治団体を利するために、または特定の候補者や特定の団体を不利にするために、番組を利用する意図を有する者がレギュラーコメンテーターになった場合には、そのコメンテーターに発言させないよう話題が選別されることは明らかである。

偏向的・偏狭的政治主張を有するコメンテーターは、当該話題を議論する際に、対抗する複数の出演者を起用する前提で起用すれば必要にして十分である。

以上

尚、先般の申立書に付随する参考資料として下記の資料を追加

- ①【藤井聡】大阪都構想：知っていてほしい7つの事実ネットでの藤井氏の記事。7つの事実。
- ②府民の力2015のちらし
- ③産経新聞記事1
- ④産経新聞記事2
- ⑤公開討論の申し入れ
- ⑥藤井氏のホームページ